

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年12月31日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部 国際日本学科(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年11月26日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	オーストラリア
留学先大学	マッコーリー大学(日本語名) Macquarie University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2023年2月～2023年11月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 2 月下旬～6 月下旬 2 学期: 7 月下旬～11 月下旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	40,000 名
創立年	1964 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (AUD)	日本円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため
宿舍費	15,600	1499181.37円	North Ryde Student Village 寮
食費	4000	384405.48円	
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	312,17	30,000円	空港でSIMカードを購入
現地交通費	300	28,830円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	5,000	480,506.85円	旅行中出費、渡航費含む
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	2705	260,000円	形態:海外旅行保険、OSHC
渡航旅費	2341	225,000円	
ビザ申請費	620	59,582円	
雑費	500	48,050円	食器、包丁、布団シーツなど
その他	0	0円	
その他	0	0円	
合計	11,778.17	1,131,968.85円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:羽田国際空港 目的地:シドニー国際空港 経由地:	
復路 出発地:シドニー国際空港 目的地:羽田国際空港 経由地:広州白雲国際空港	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:ANA 料金:160,000円 復路 航空会社:中国南方航空 料金:65,000円 ∴合計:225,000円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:公式サイト)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

学生寮(寮の名前:North Ryde Student Village) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学ホームページ推奨の寮

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

古い寮なので、ヒビなども多く清潔感に欠けますが、フラットメイトと友達になれたらとっても楽しいです大学からも徒歩 10 分と近く、寮内でイベントもたくさん開催しているので、友達作りしやすい環境でした。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネットや外務省からのメールを通して情報を収集していました。シティでデモが行われる日は外出を控えました。犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、大学共に、特にインターネット接続に問題はありませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の空港で50ドルほど現金に換金しました。その50ドルで10か月の留学を過ごせるほど、現金を使う機会はほとんどなかったです。基本的には日本から持って行った VISA のキャッシュカードを使っていました。大学の近くにあるショッピングセンターのなかの銀行で無料でカードを作り、友達と割り勘したときなどにお金を送りあう口座として使いました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

値段を気にしないのであれば、調達できないものは特にありません。ただ、靴のサイズが大きい物しか売っていないので、女性の方は留学中に履きたい靴は持って行った方がよいと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
60 Cr Pts 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Humanities and the World	人文科学と世界
科目設置学部・研究科	Bachelor of Arts
履修期間	一学期
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とチュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 60 分が 2 回
担当教授	James Mackenzie
授業内容	社会に出て対面する課題をどう解決していくのかを、人の性格やメソッドなどに注目しながら、何種類かに分けて分析したり、ジェンダー、人種などの問題に絡めたりして、幅広く学びました。
試験・課題など	エッセイ、オンラインクイズ、ポスター作成
感想を自由記入	Bachelor of Arts に所属する現地生 1 年生の必修授業だったようで、「こんなふうに授業が進んでいくのか」と、学べる雰囲気、初めて履修する授業としてとっても受けやすい授業でした。チュートリアルで生徒同士で本格的なディスカッションをする回と、先生を交えてクラス全体で意見交換をする回があり、色々な授業の形態を知ることが出来ました。最初にこの授業を取ってよかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Freedom Dreams: Foundations in Gender Studies		自由の夢:ジェンダー学のはじまり	
科目設置学部・研究科	School of Social Sciences		
履修期間	一学期		
単位数	10		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に60分が3回		
担当教授	Rebecca Sheehan		
授業内容	ジェンダーの多様性がどのようにして確立されていったのか、だれがどのような活動をして、どのような犠牲があったのかについて学びました。チュートリアルでは、生徒が活発に意見交換をして、先生が班を順に回って会話に参加しながら話し合いの発展を促すという形でした。		
試験・課題など	エッセイ、オンラインクイズ		
感想を自由記入	ジェンダーは私が最も興味のある分野なので楽しみにしていました。明治大学でもジェンダーと表象という授業を履修しましたが、先生が漫画を研究されているため、日本の漫画に登場するジェンダーの在り方に授業のフォーカスが向いており、LGBTQ+そのものについてや、その歴史について思ったような学びは得られませんでした。留学先のこの授業では、歴史やジェンダーに向けられる世間からの目の変遷を学べたので、楽しかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Multimodal Storytelling		複数の手段による物語の伝え方	
科目設置学部・研究科	Department of Media, Communications, Creative Arts, Language and Literature		
履修期間	1 学期		
単位数	10		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60 分が 2 回		
担当教授	Jillian Kramer		
授業内容	ラジオやサイレント映画、ポスター、音楽など、様々な手段による情報の伝え方について学びました。音を与える情報、色の情報などだけでなく、主人公の挫折、悪役の登場、救わなければいけない対象の登場など、童話や映画の展開のパターンについても学びました。		
試験・課題など	オンラインクイズ、エッセイ、童話の結末を自分なりに変えて、動画やラジオ、新聞など自由形式で作品にする		
感想を自由記入	赤ずきんやハリーポッターなどを議題に、物語の展開の仕方や、予告編に施された工夫などを考察するのがとても楽しかったです。生徒同士の速いディスカッションに参加するのはとてもハードルが高いですが、自分の知っている童話や映画の話は、比較的入りやすかったです。最終課題で、自分でシンデレラの物語の展開を変え、絵を描き、ナレーションと音楽を入れ、どうしてそのように変更を加えたのかについて書くのは大変でしたが、明治大学で私が履修していた授業とは全く違った課題だったので面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Gender and Power		ジェンダーとその力	
科目設置学部・研究科	School of Social Sciences		
履修期間	2 学期		
単位数	10		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回		
担当教授	Emily Fattore		
授業内容	国や宗教、文化ごとのジェンダーの在り方と歴史を中心に学びました。他にも、男女間の不平等についても深く学びました。例えば、昔の映画やアニメなどで女性キャラクターの胸や脚をアップで映すカットが多く使われるのは、男の人が女の人に向けて、下心を含む視線 male gaze を基に作られているからである、ということ学んだりしました。		
試験・課題など	エッセイ、オンラインクイズ		
感想を自由記入	授業内容は難しかったですが、male gaze など、日本には単語化されていない現象も、英語にはあると知って、学びが多い授業でした。日本での話ではなく、色々な文化や宗教によつての違いを学ぶこともできて、明治大学では履修できないような授業内容でした。One Direction の”What makes you Beautiful”と言う曲に、「君は自分が美しいことをわかってない その無自覚さが君を美しくしてる」という歌詞がありますが、授業では差別的な表現として取り上げられました。この授業で取り上げられるまでは、なんの違和感もなく聞いていたので、そういった新しい視点の発見に面白みを感じました。特にチュートリアルでは、生徒が自分たちの実際の経験をもとに意見を交換していて、とても興味深かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Sex, Race, and Rock		性別、人種、ロック	
科目設置学部・研究科	School of Social Sciences		
履修期間	2 学期		
単位数	10		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回		
担当教授	Rebecca Sheehan		
授業内容	女性、特に黒人女性、そしてジェンダーを理由に虐げられてきた人々が、音楽を通してどのようにして自らの権利を主張し、立場を確立してきたのかを学びました。中には、虐殺や拷問なども内容に含むため、何度か授業前に注意喚起がされました。これまでの性差別や人種差別について、音楽やアーティストを通して学ぶことが出来ます。		
試験・課題など	エッセイ、オンラインクイズ		
感想を自由記入	ロックンロールやディスコなど、昔の曲やアーティストをさかのぼって学ぶので、現地生がみんな知っているような曲やアーティストも、私は知らない、ということも多く、難しかったです。ですが、私は音楽が好きなので、曲から読み取れる雰囲気や、アーティストの着飾り方について考察するのはとっても楽しかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Happiness, Goodness and Justice	幸福、善良さと正義
科目設置学部・研究科	Department of Philosophy
履修期間	2 学期
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回
担当教授	Katrina Huchison
授業内容	人としてすべき行動や、理想の生き方、軸、社会の中で集団生活するうえで必要なルールなどを哲学の視点から学びました。チュートリアルでは、トロッコ問題や囚人のジレンマなどの有名な議題や、ルソーやプラトン、アリストテレスなどの哲学者の本や考えを基に話し合いを行いました。
試験・課題など	エッセイ、オンラインクイズ
感想を自由記入	哲学は、私が明治大学で専攻していないけれども興味のある分野でした。トロッコ問題や囚人のジレンマの話は知っていましたが、こんな風に深く議論を交わしたり、哲学者の考えを基に正解を導きだそうとするのは初めてだったのでとても楽しかったです。様々な状況で、どのような行動をとるのが最善なのか、正解がないからこそ自由に議論に参加できました。私が普段からよく「あの時どんな行動をとるのがよかつたんだろう」と悩むのを、まるでクラスメイトとみんなと一緒に結論を導こうとしているようで楽しかったです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
ワンキャリアというアプリ。あとは興味のある企業のイベントをチェックして、オンラインイベントに申し込みました。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 日本では、理想的な就活ルートがあるように感じますが、留学先で出会った友人には、自分のやりたいことを生かした職を目指す人、大学院への進学を決めている人、大学で他の分野を専攻して学びを深める人、卒業後に旅をしたいことを探す人など、人によって進路の道や時期が全く違っていることに衝撃を受けました。就活を始めると、偏差値ごとに企業の名前が並べられたリストなどを目にすることもあります。自分に合った企業はどこなのかということより重視するようになりました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	留学を検討する、TOEFL iBT の勉強
	4月～7月	留学希望手続き、TOEFL iBT の勉強・受験
	8月～9月	留学面接通過
	10月～12月	オリエンテーション、保険、入学許可、航空券、引き続き TOEFL iBT の勉強
留学開始年	1月～3月	ビザ、滞在先確保、TOEFL iBT の勉強・受験、渡航、留学開始
	4月～7月	メルボルン旅行、ゴールドコースト旅行、留学先中間試験、ケアンズ旅行
	8月～9月	日本から友達が来て観光、ブリスベン旅行、冬休み終了
	10月～12月	留学先期末試験、ニュージーランド旅行、メルボルン旅行、帰国
留学/帰国年	1月～3月	本格的に就職活動開始予定
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

ジェンダーや多様性を学んでいるため、多国籍国家であり、LGBTQ+にもオープンなオーストラリアに留学を決めました。将来は国際的な職業に就きたいため、オーストラリアで生活し、現地の人々と触れ合うことで、多様な文化や宗教、背景を持つ人に対して理解を持てるようになりたいと考えました。現地では、予想以上にいろいろな人と出会い、友達になれました。育った環境が全く違う人や、それにより考え方が違う人であふれていました。同じ状況に置かれても、「わたしだったらこうするけど、どうしてあの子はあしたんだらう」と疑問に思うことが多く、理解に時間がかかることも少なくありませんでした。優しさひとつをとってもいろいろな形があって、悩んでいる子に対する接し方の違い、触れてほしくない話題の違い、自分の感情の伝え方などなど、違うからこそ、わからないと思ったことはうやむやにせず、すべて素直に話し合うことが解決への一番の近道と学びました。日本では「相手がどう感じるかを考えてから動く」「事を荒立てない」「察する」ことを一番に動いてきた私には、新しい価値観だらけの留学でしたが、取り入れられる部分も多く発見しました。学業面はもちろん、人間関係も、大きな成長の糸口になると考えます。授業と家の往復のみで、友達を作らなくても留学はやっていけますが、友達を作ったかわりを広げることで、留学の充実度は格段に上がると、はっきりといえます。英語での会話は体力を使いますし、最初は勇気が必要ですが、それらを費やす価値が絶対にあります。